

槇の木

家光の息子・家綱（西暦 1641-1680）が植樹したのが、常緑樹であるこの槇の木です。古来より槇の木は聖なる木と考えられており、大猷院を守護してきました。

槇の木は日本原産の種であり、日本のほとんど(の地域で)で自生しているのが見受けられます。